

地

元

密

着

通

信



Jimoto mitchaku
tsushin

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

みんな上手に凧をあげ
ていました！



毎年恒例の年始め「凧あげ大会」が開催されました。
飯坂地区青少年健全育成会と飯坂公民館によるものです。低学年は「三角凧」、高学年は「四角凧」で図柄は、今年の干支である「虎」が多かったですが、定番の『一富士二鷹三茄子』も見受けられました。凧あげには最適な風も吹いていて、子どもたちも大喜びでした。
雪が積もっていて、とても寒い日でしたが、子どもたちは雪合戦をして元気に駆け回っていました。来年も凧あげ大会が無事開催できると思います。

飯坂地区凧あげ大会！

飯

坂自治会

佐藤 秀夫 通信員



満開の花が咲いたよう
です。



仁井町いきいきサロン会員で、小正月の「だんごさし」を1月23日に仁井町会館で行いました。もち米の粉と米粉を湯でこねた白いだんごと、食紅を混ぜた赤いだんごを作り「みず木」に花を咲かせたように飾りました。作成しただんごの木は、八坂稻荷神社の本殿に無病息災と福が舞い込むようにと願いを込め飾りました。また、会員は各自の家庭に飾り「豊年祈願」や「一家繁栄」を願うということです。「だんごさし」を行っている家庭が少ない中でのこのような開催は、とても有意義な時間となりました。

小正月のだんごさし

仁

井町自治会

菅野 喜好 通信員



みんな一生懸命、焼物
制作に取り組んでいま
した。



大堀相馬焼「京月窯」の第15代窯主である近藤京子先生のご指導のもと、今年も卒業制作の陶芸教室が福田小学校で開催されました。卒業を迎える6年生が、世界にひとつだけの特別な焼物を作成し、完成した焼物はどれも上手にできていました。羽田地区の武藤潔さんが、福田の子ども達がのちに自分で造った焼物を見て、人の為に役に立ちたいと思う心を育んでほしい」という願いから始まった焼物教室は、福田小学校閉校に伴い今年で最後となりますが、これからもみんなで福田の子ども達を見守り続けます。

卒業制作の焼物に願いを込めて

福

田自治会

三浦 栄梨佳 通信員



—お詫びと訂正—

広報かわまた3月号12ページ、地元密着通信・福沢自治会の記事の1行目「福田公民館」と掲載されていましたが、「福沢公民館」の誤りでした。深くお詫びして訂正いたします。



山
木屋地区自治会

菅野 勝久 通信員



田んぼリンクオープン

1 月22日、山木屋の「絹の里やまきやスケートリンク」が今年もオープンし、子どもたちは初滑りを楽しんでいました。リンクは、1984年に開設しましたが、東京電力福島第一原発事故に伴い、山木屋が避難区域となり一時休場し、そこから5年後に再開することができました。地元の子どもたちや親子で滑りを楽しむ姿もあり、学校行事も行われ、今年も多くのスケーターが誕生しました。近年は温暖化の影響もあり氷作りは自然との戦いで大変ですが、山木屋の冬の風物詩が長く続くことを願っています。



親子でワイワイしながら滑って楽しんでいる様子でした。



福
沢自治会

菅野 奈美子 通信員



西方地区の健康相談会

川 俣町主催による福沢西方地区の健康相談会が開催されました。西方コミュニティ消防センターにて、川俣町保健師の「ノ瀬さん」から個別指導をしていただき、その後、フレイル（体や心の虚弱状態）予防の講話と食品口スを考慮したお弁当のレシピが配布されました。気軽にできる体操を実践すると「私は体が硬くてムリ〜」などと言いながら、笑いも起き、体も温まりました。最後には、「いろいろ分かって良かった」と参加した方々から喜びの声をいただき、有意義な会となりました。準備お疲れさまでした。



「寒いどうしても血圧があがりやすいですからね。」「今年は特にさむいよない。」



小
綱木地区自治会

斎藤 吉紀 通信員



関場トンネル開通式

3 月2日、小綱木関場トンネルの開通式が行われました。関場トンネルは、国道114号にある「福島復興再生道路」と呼ばれているトンネルです。町内から山木屋方面へ向かう初めてのトンネルで、前田遺跡の上を渡って入ります。そのため、前田遺跡は埋め戻されてしまい、とても残念ですが、トンネルが開通したことにより、地区住民の方々の交通の便が良くなるのであれば、大変良かったと思います。開通式の準備・運営に関わった関係者の皆さん、大変お疲れさまでした。



トンネルが開通した瞬間です。



宮
赤自治会

丹野 早苗 通信員



鳥居が撤去されます

川 俣町民の方なら、一方通行の町道に面した川俣中学校脇、春日神社の石製の鳥居はご存知かと思いますが。2021年2月の地震で両脇の石燈籠が倒壊する等、鳥居も危険な状態にありました。工事に先立ち2月28日、吉田芳樹さんより、清祇いの儀が行われ、地元住民らが玉串を捧げて安全を祈願しました。今後は石燈籠は低く、鳥居は全撤去されます。子どもたちの通学路と地元住民の生活道路の安全が確保されます。作業に関わった地区住民の皆さん、お疲れさまでした。



鳥居は115年前、明治40年に建立されました。